

# 緑風だより

第102号

令和7年12月4日発行



発行 障害者支援施設 さがみ緑風園

〒252-0328 相模原市南区麻溝台2-4-18

TEL042-766-2255 URL [www.pref.kanagawa.jp/cnt/f488/](http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f488/)

発行者 長澤忠行



やりたいことがあったらどんどん挑戦できるようサポートします

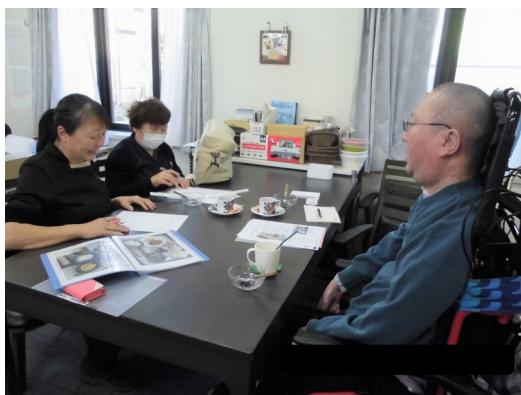
生活第二課 8ホーム 染谷圭子

ある朝、いつものように外部の生活介護に出発する利用者様の送迎車が到着し、お見送りをしていたところ、普段通所をしていない利用者Sさんに声をかけられました。「僕も、お風呂にもっと入りたいから通所に行きたいです。ここに入所する前に自宅から通っていたみたいに、通所して外の人と喋ったりしたいのですが。」と打ち明けられました。8ホームの今期の目標は、「やりたいことがあったらどんどん挑戦できるようサポートします」です。そうと聞けば、早速事業所探しの開始です。

新たに通所を開始する際、まずは本人に希望する条件を聞きとり、ケース担当職員と話し合いを持ち、本人にマッチする活動や環境、通所を通じてどのような目標が達成できるか等を確認します。その際、本人のことをどこまで深く理解しているかが大切になります。出来ないと諦めるのではなく、うまくいく方法をどこまで思いつくかが鍵になります。その後、再度本人やご家族と話し合い、認識の擦り合せを行います。

次に、事業所探しです。Sさんは、気管切開をしている利用者様です。事業所を選考する際、喀痰吸引のできる看護師の配置がないことには始まりません。こんな時のために日頃から様々な事業所情報をインターネットで収集していますが、相談支援事業所から情報収集をしたり、短期利用者様やその関係者から情報を貰うこともあります。利用に繋がらなかった事業所とも関係を温め、ひょんなタイミングで他事業所の情報をいただくことも。何より大切にしているのは、直接現地へ足を運んで雰囲気を確かめることです。データ上の看護師配置の有無だけでは、どこまで対応していただけるか分かりません。先ずは職員だけで現地へ赴き、本人の支援状況を説明します。併せて、ここに本人がいたらどうなるだろうとイメージを膨らませるようにしています。“しっくりくる”という感覚が持てる場所に出会えたら、利用者本人と2度目の見学をさせていただきます。もちろん、利用を決めるのは本人です。体験をするかどうかも含め、全て本人のペースで進めます。

現在、当園では8名の利用者様を5事業所へ送り出しています。お風呂に入る所、工賃が出る所、静かで作業に没頭できる所、集団活動が活発な所、看護師による医療的ケアが手厚い所等特徴は様々です。Sさんも、近々通所が始まる予定です。これまで見送る側であったSさんがどんな表情で「行ってきます！」と出発されるか、職員総出で楽しみにしているところです。



通所に向かって事業所の見学に行かれたSさん。「午前中に入浴ができ、飲み物を選べるところもよい」との事



当園玄関のクリスマスツリー☆彡



## 「ほかほかふれあいフェスタ2025」に参加しました

地域支援課 早坂一生

令和7年10月11日（土）相模原市あじさい会館で行われた市民まつり「ほかほかふれあいフェスタ2025」に参加し、当園利用者が日中活動で行っている「マットス」と「eスポーツ」を知っていただくことを目的に展示・実演を行いました。

「マットス」は色と重さの異なる4つの球を16個のマスがある100センチ四方のマットに投げ得点を競うゲームです。投げる順番や力加減を工夫して、一つのマスにすべての球を入れたり、一列に並べたりといった「役」が付くと高得点が狙えます。

「eスポーツ」とは「エレクトロニック・スポーツ」の略で、コンピューターゲームやビデオゲームをスポーツ競技として捉え、対戦することです。当園の利用者は手に障害があり通常のゲーム機のコントローラーを操作することが難しいため、大きなボタンのスイッチや頬で操作するスイッチ、指の間に挟める薄い板状のスイッチなど、特殊なスイッチを接続して操作します。当日は、当園利用者が使用している様々なスイッチを展示しました。

この日は生憎の雨模様でしたが多くの市民が来場され、ブースに来られたほとんどの方にマットスとeスポーツを体験していただきました。当園からは利用者2名が参加しマットスの審判を行い、実演に一役かってくれました。



## 生活の楽しみを見つけよう～EOL活動～

リハビリテーション科 篠崎雅江 清水拓人

リハビリテーション科では、2019年から“生活の楽しみを見つける”ことを目的とした活動を行っています。生活の楽しみ（Enjoyment Of Life）の頭文字を取ってEOL活動と呼んでいます。利用者の方々それぞれの興味関心と共に探し、どのような環境設定を行えばその活動が出来るのか、および主観的な満足度の評価を行っています。3年間様々な活動を行い、今年度は主観的満足度の高かった「植物栽培」と「ハロウィンバッジ作り」を行いました。

植物栽培は植木鉢に利用者ご自身が選んだ種をまき、小さなペットボトルの蓋に穴を開けた特製じょうろで水やりと一緒に行いました。大きくなる苗を見ながら「花はいつ咲きますか」と話題の一つにもなっています。毎週金曜日に植木鉢をOT室に飾り、多くの方に見られるように工夫しました。ハロウィンバッジは昨年度から作っています。男女を問わず、多くの利用者の方が「かわいい」と喜ぶ活動です。バッジを作りに自発的にリハ室を訪れ、途中で他の利用者を誘って一緒に作ることもありました。その他に、不定期で絵本の読み聞かせを行っています。

これからも、少しでも利用者の方が自分で行え、満足度を高められる活動と一緒に探していくたいと思います。

